# 小泉産業グループの沿革





近江商人である小泉太兵衛を始祖に創業した小泉産業グループは、
300年以上にわたり「三方よし」をはじめとする近江商人の精神と、
社是「人格の育成向上」を基盤とする独自の哲学を大切にしながら、着実に成長してきました。
これからも、その考え方を忘れずに、お客様と社会の期待に応えながら、
未来に向かって歩んでいきます。

| | |
|---|---|
| 1716 | 創業 |
| 1847 | 近江屋新助商店設立 |
| 1871 | 立木屋森之助商店を出店（近代創業） |
| 1904 | 社章を✤に制定 |
| | 小泉合名会社設立 |
| 1915 | 小泉重助商店発足 |
| 1941 | 株式会社小泉商店設立（小泉重助商店を法人化） |
| 1943 | 航空機ゲージの加工販売を行う五光精機工業を買収<br>五光精機工業株式会社設立 |
| 1946 | 五光精機工業株式会社を小泉産業株式会社に改称 |
| | 電気、ガス、石油器具などの製造卸業を開始 |
| 1957 | 照明市場に本格参入（「ヒカリ」ブランド） |
| 1967 | 家具市場に本格参入 |
| 1971 | 業界初 学習机でTVCF |
| 1978 | 大阪商工会議所から「企業百年」で表彰を受ける |
| 1981 | 社員の意識改革と構造改革を目指す5カ年の<br>「ニューボーン活動」スタート |
| | 株式会社マテック<br>（現在のコイズミ照明デバイス株式会社）設立 |
| | 株式会社ハローリビング設立 |
| 1986 | CI導入 KOIZUMI<br>（ヒカリからコイズミへブランドを変更） |
| 1989 | 商事事業部門（現在の小泉成器株式会社）を分離<br>（新創業） |
| 1991 | コイズミライティング株式会社<br>（直営の照明器具製造工場）設立 |
| 1999 | コイズミ物流株式会社設立 |
| 2000 | 東莞事務所開設 |
| 2002 | 小泉産業（香港）有限公司設立 |
| 2004 | コイズミ学生家具デザイン展を開催 |
| 2005 | コイズミ エコプロダクツ 表示開始 |
| 2006 | 照明事業と家具事業を分社<br>小泉産業株式会社を持株会社とする<br>グループ経営体制に移行 |
| | 克茲米商貿（上海）有限公司設立 |
| 2009 | 東莞小泉照明有限公司設立 |
| 2012 | コイズミライティング株式会社が<br>LED照明の製造工場を開設 |
| 2013 | 株式会社ホリウチ・トータルサービスがグループに加入 |
| 2015 | KOIZUMIブランド刷新 KOIZUMI |
| | ビッツリンクアソシエイツPTE.LTD.<br>（現在のコイズミライティングシンガポール PTE.LTD.）が<br>グループに加入 |
| 2016 | グループ創業300周年 |
| 2018 | コイズミライティングベトナム CO.,LTD. 設立 |
| 2019 | プロサッカーチームJ1「セレッソ大阪」への<br>スポンサード開始 |
| | JR大阪駅前の大型グランドビジョンでの<br>PR動画のオンエア開始 |


小泉産業株式会社



発行：2020年7月



〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7
TEL：06-6262-1391　FAX：06-6262-1490

**https://www.koizumi.co.jp/**



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。

この印刷物は、石油系溶剤を含まない「ノンVOCインキ」を使い、印刷しています。


小泉産業グループ

# COMMUNICATION REPORT 2020

KOIZUMI
違う発想がある

# KOIZUMI SPIRITS

1716年の創業以来、
小泉産業グループは人々が求める
モノや価値を、
いち早くカタチにして贈り届けてきました。
一貫させてきたのは、お客様を第一に考え、
マーケットの動きを読み、
未来を見つめる視点を忘れないことです。
そしてそうした活動の根底では、
商品、サービス、ソリューション、
それらを「人から人へ。」届けることを
大切にし続けてきました。
「コイズミ スピリッツ」とも言うべき
その精神がどのように生み出され、
育まれてきたのか。
当社の歩みとともにご紹介します。

CONTENTS


02　KOIZUMI SPIRITS
08　グループ トップメッセージ
10　小泉産業グループの事業紹介

コイズミ照明株式会社
12　トップメッセージ
14　YU KIRORO
16　Hoop Dining Court
18　HERO GYM
20　地獄温泉 清風荘
22　京都 神楽岡　蓮月荘

コイズミファニテック株式会社
24　トップメッセージ
25　デザインと機能性を追求した
　　新しい学習机
27　グループ各社の協働で
　　「上質な眠りの空間」を提案

コイズミ物流株式会社
28　トップメッセージ
29　家具配送の全体最適を考えた
　　効率化の提案

株式会社ハローリビング
30　トップメッセージ
31　高い施工力でオフィスビルの
　　LED化を支援

株式会社ホリウチ・トータルサービス
32　トップメッセージ
33　大型商業施設新装工事の搬出入管理

34　KOIZUMI TOPICS
38　小泉産業グループ 概要
40　小泉産業グループの沿革


当COMMUNICATION REPORTは、新型コロナウイルス感染拡大に十分に配慮した上で、制作を行っております。



## 進取の気性を表す「__違う発想がある」

従来の習わしにとらわれることなく、積極的に新しい物事へ取り組む気質や性格を指す「進取の気性」は、まさにブランドステートメント「__違う発想がある」そのもの。過去の市場参入や商品・サービスの開発などでも、時代の一歩先を行く「価値」を、お客様に提供し続けてきた。

## 仕事の心掛け「三方よし」

SDGsの観点などから世の中で「三方よし」の精神が、改めて注目されている。その中で当社は創業以来、時代に適応させながら、この精神を継承し、お客様に価値として還元し続けている。また、「自分たちだけ、儲かればよいではいけない」という考え方が社員教育でも重視され、仕事に対する心掛けになっている。

# 人から人へ。

## お客様を思う姿勢“粘り強さ”“積極性”“情熱”そして“アイデア”“センス”

約300年以上の歴史の中では、「戦争」「不況」「統制」「リーダーの急逝」「市場変化」など、さまざまな苦境を数多く経験してきた。それを乗り越えられた最大の要因は、社員の気質（情熱、粘り強さ、積極性、忍耐など）であり、その経験が、お客様に価値を提供する「アイデア」「センス」を生んできたといっても過言ではない。そしてそれらのスピリッツは、人を変え、カタチを変え現代にも息づき、お客様から信頼をいただく所以となっている。

## 特殊特徴品主義

「特殊特徴品主義」こそが、変化の激しい時代を乗り切り、将来を切り拓くための貴重な宝になるという考えを戦前から貫き継承している。これは現在のブランドステートメント「__違う発想がある」に繋がっている。また、この考えの根本には「時代の流れとお客様のニーズをいち早く知る」がある。

## 「人格の育成向上」をベースにした商道徳と社員教育

この言葉は、「近江商人」のよき伝統である「社員教育（当時は社員の子弟）」が継承されたもので、グループの社是でもある。「商道徳」と「社員教育」のベースに常に「人格の育成向上」を置き、現在も「コイズミアカデミー」など階層ごとの教育を熱心に実施している。

# 商品とサービスに磨きをかけ、お客様と社会に貢献する

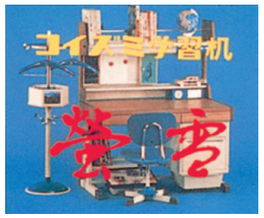
## 1947



### コイズミ照明機器のルーツ「電気スタンド」

敗戦から2年目、家庭電化時代の到来を予測し、電気生活用品を開発。その一つが電気スタンド。以後、フレキシブルスタンドに始まり、カットスタンドや和風スタンド、そして蛍光灯スタンドへと進化する

## 1966




### 業界初の蛍光灯付き学習机「螢雪」

高度経済成長で人々の生活にはゆとりが生まれ、モノへの投資のみならず、子どもへの投資・教育熱も高まった。そこに着目し、自社の照明技術を活かした、業界初の蛍光灯付き学習机を発売した

## 1967

### 料理ができる食卓 クックテーブル「晩餐」

住宅の洋風化でダイニングテーブルの需要が伸びる中、「鍋料理で、ガスコンロの準備が手間」という主婦の声に着目。開発したガスコンロ付きのテーブルは、お客様ニーズにマッチし、大ヒット商品となった





### 業界初の試み「照明のショールーム」

昭和40年代には照明を販売する取引先が急増。売り方がわかりづらい照明器具の「売り方提案の場」としてショールームを開設。商品を見るだけでなく、売場づくりや提案のノウハウも提供した

## 1973



### 照明設計のノウハウを提供「ライティングアカデミー」

照明には器具と、光が生み出す空間演出の両面がある。空間づくりに大きな影響を与える照明設計のノウハウを、プロの方々に伝えることで照明文化の発展をめざした

## 1976

### 光を知り尽くしたプロフェッショナルチーム「LCR」

「空間は光が構成する」という考えのもと、早くから照明設計を専門に担う部門LCR（Lighting Creative Room）を設置。商業施設などの先進的な空間を対象に、数々の照明提案を行ってきた



## 1977

### 資源枯渇への対応とコストダウンを両立「ラバーウッド」の採用

ラバーウッド（ゴムの木）は、本来は廃材になるものだが、その硬さと手触り、そして成長の早さに着目。成長が早く、値段が安く、安定的に調達できる「一石三鳥」の素材として採用した



## 1978



### 棚を外せば高校まで「6・3・3で12年」使える学習机

従来の学習机は、本体と棚の一体型が主流。上級生でも平机として長く使えるよう、棚の取り外しができる設計で開発した新しい学習机は「6・3・3で12年」のキャッチコピーとともに普及した




## 1982



### 動くあかりのショールーム「ライティング・セボアール」

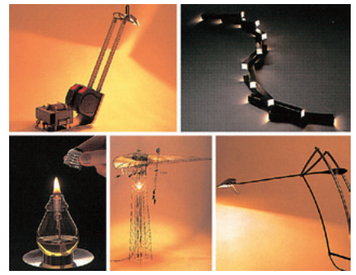
「現物を確かめてから決めたい」という要望に応えるため、トレーラーを改造したショールームを特注。「全国津々浦々までショールーム」という発想で、全国のお客様に向け移動展示を行った

## 1987




### コイズミ国際学生照明デザインコンペ

若き人材の育成とあかり文化の普及を目的に、世界の学生を対象とした、世界唯一の照明デザインコンペを創設。以来25回開催し、応募者は延べ42カ国、3万3千人にのぼった



## 1988

### 時代を変えた省エネ照明「インバータ照明器具」

省エネのトレンドを背景に開発された高効率、静音、瞬時点灯などが特長のインバータ回路。専業メーカーでいち早く商品化に取り組んだ当社は、充実のラインアップでお客様の要望に応えた

## 1990

### 体感型ショールーム「コイズミライティングシアター イズム」

従来の「器具のコーディネート」中心の考え方とは一線を画し、ショールームに“体感”の概念を導入。さまざまなシミュレーション装置を導入した設備は、業界に新たな風を吹き込んだ

### 学習机の新常識「インバータデスク」

照明業界で早くからインバータ器具の開発に取り組んできた当社は、業界に先駆けて、学習机の照明にも、目にやさしいインバータライトを導入。学習机の「新しいスタンダード」を確立した






## 1991

### 専業メーカーとしての技術ベースを確立「開発技術センター」

独自の照明技術の研究・開発をテーマに生まれた開発技術センター。商品開発に必要な基礎応用技術を研究する部門、デザインから商品化まで担う部門などを設け、技術ベースの確立に取り組んだ



# 商品とサービスに磨きをかけ、お客様と社会に貢献する

## 1997

### ホームページによる情報発信

普及率10%程度というインターネット黎明期に、業界でいち早くホームページを開設。お客様満足向上と透明性の高い経営をめざし、商品、リクルート、経営など、さまざまな情報発信を強化した



## 1999

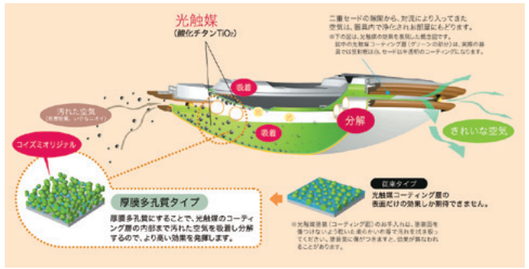
### 子ども用の学習家具に安心・安全を「健康デスク宣言」

子どもが使う学習家具こそ安心・安全であるべき。その考え方にもとづき実施した「健康デスク宣言」。健康・安全・環境を考慮し、ホルムアルデヒドやダイオキシンなどへの対策を講じた




### 空気を浄化するあかり「光触媒照明」

光触媒と紫外線の特長を組み合わせるという発想から生まれた、室内の空気を清浄に保つ機能がある照明器具。シックハウス症候群が社会問題化した当時、発売当初から注目を集めた




## 2001

ISO9001
認証取得

## 2002

ISO14001
認証取得

### 照明事業で「ISO9001」「ISO14001」の認証取得

2001年に品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」、2002年に環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得。品質保証体制と環境経営機能の強化に取り組んだ

## 2006

### 学習机の新しいカタチ「ステップアップデスク」

「机＋上棚」から「机＋書棚」への発想転換で、机と書棚を「合体式」と「分離式」のどちらでも使用可能にし、子どもの成長に合わせた自由な使い方を提案。この手法は、翌年の他社新商品でも多く採用された





## 2012

### 児童養護施設への「学習デスク寄贈活動」

児童養護施設の子どもたちへ、自社の学習机を寄贈。ただ商品を送るだけでなく、社員が現場で子どもたちと一緒になって組み立てる活動は、物心両面での支援として寄贈先からも喜ばれている







## 2013

### LED照明提案型スタジオ「KLOS」

LED照明の最適化提案や最新技術紹介など、お客様との双方向コミュニケーションによる課題解決をめざす、これからのイノベーションの場として開設。室内の表情を変えながら施設全体で光のあり方を表現できる



## 2014



### 照明制御の国際規格「DALI」対応商品の発売

快適な空間を実現する照明制御技術として、現在大型施設やオフィスで普及が進むDALI。コイズミ照明は、他社に先駆けてDALI対応商品の開発に着手し発売した




## 2017



### あかり文化創造拠点「コイズミ照明 R&Dセンター」竣工

「あかりの杜」をコンセプトとした、LEDに特化した研究・開発施設兼実践型ショールーム。最新の照明設備をそなえ、環境や働き方などにも配慮した革新的オフィスは、お客様からも高い評価をいただいている

## 2018

### 照明制御システム「TRee」開発

住宅のIoT化に対応し、家中の照明をコントロールできる「TRee」システムを開発。スマートスピーカーとも連係し、話しかけるだけで、設定したシーンに変更したり調光・調色のコントロールができる

TRee
照明制御アプリ(ツリー)

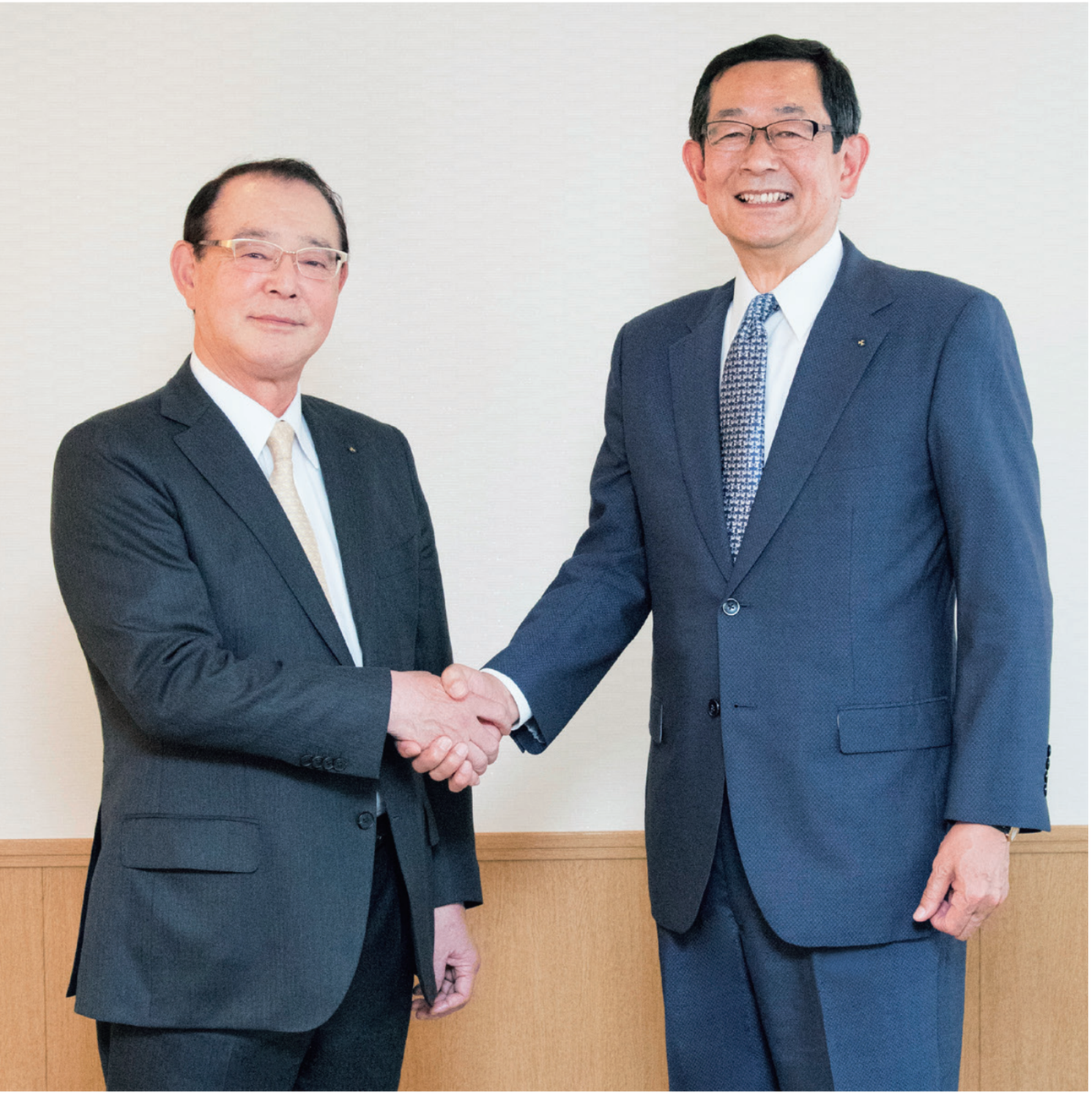



## 2020

### 照明専業メーカー初の試み「BIMデータ」の提供




設計、施工から管理まで、建築の新たなシステムとして、大型プロジェクトで導入が進むBIM（Building Information Modeling）。設計者や施工者の生産性向上に貢献するため、照明専業メーカー初のデータ提供を開始した



小泉産業株式会社
代表取締役会長
## 梅田 照幸

1972年小泉産業株式会社入社。2010年より同代表取締役社長を務め、2020年4月より代表取締役会長（コイズミ照明株式会社代表取締役社長を兼務）。仕事における夢は、常に新しいことに挑戦し、オリジナリティを出して発信し続けること。そして、仕事を通して社会に貢献することを大切にしている。

小泉産業株式会社
代表取締役社長
## 権藤 浩二

1976年小泉産業株式会社入社。2020年4月より同代表取締役社長（株式会社ホリウチ・トータルサービス取締役会長を兼務）。仕事に取り組む上で大切にしているのは「商売を通じて人格を磨く」こと。社長職を務めるにあたり、この「商売人の原点」をグループ全体に浸透させたいと意気込む。



# 社会の期待に応え、成長し続ける真のブランド企業を目指す

小泉産業株式会社 代表取締役社長　権藤 浩二

### さらなる成長のため3つの変革を成し遂げる

4月1日付で小泉産業の社長に就任しました。梅田会長と手を取り合い、グループ全体でKOIZUMIブランドの価値を高められるよう全力で取り組んでいきます。

私は企業が持続可能な成長を続けるためには「ブランド価値の向上」が、全てだと言っても過言ではないと考えています。その考えに基づき、第5次中期経営計画（2018年度～2020年度）の仕上げとなる今年度は、KOIZUMIブランドを、社員が心から誇りに思い、社会・お客様からなくてはならない存在だと感じていただけるように、次の3つの変革に取り組みます。

1つ目は「グッド・カンパニーへの変革」です。ステークホルダーの期待に応え、社会からの信頼が厚い企業グループであり続けるために、顧客満足、ガバナンス、人財育成、働き方、社会貢献など、さまざまなテーマの課題に挑み、強みに変えることで、グッド・カンパニー（経済的・社会的に優れた会社）だと社会から認められたいと考えています。

次に「高収益経営体質への変革」です。グループ各社が成長戦略を推進できるよう積極的に働きかけるとともに、M&Aも含めた幅広い選択肢も検討します。

### 「三方よし」の精神でお客様と社会に尽くす

そして3つ目が「いきいき組織への変革」です。当社グループは元々、同志の集団あるいは家族のような会社です。常に経営の根幹に「人」を置き、「三方よし」の精神でお客様と社会に尽くしてきたのです。事業環境がめまぐるしく変化する今だからこそ、この原点に立ち返り、同僚を家族のように思い、共に商売を心から楽しめる企業風土を、より深く根付かせたいと思っています。

変革の鍵を握るのは、社員がKOIZUMIブランドの本質を体現できるかどうかです。今年度は特にインナーブランディングに注力し、当社のDNAを改めて見える化しつつ、社員一人ひとりがブランドへの理解を深め、行動に落とせるよう取り組んでいきます。また、高いレベルの経営マインドを持つ次世代人財の育成や、新規事業アイデアの募集など、チャレンジするカルチャーをグループに浸透させていきます。

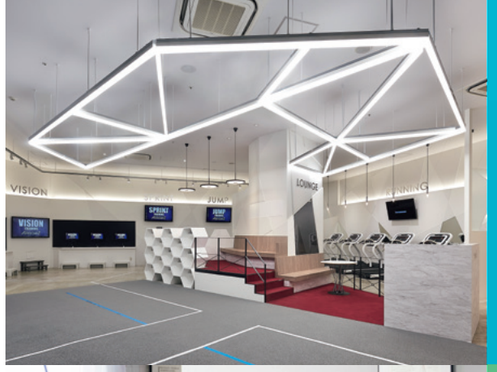
SDGsについては、事業会社のメンバーを中心とする委員会を立ち上げました。SDGsの考え方は、当社が創業時から実践してきた「三方よし」の精神につながるものです。グループ各社が事業を通して社会課題に向き合い、成長の推進力としていけるよう、腰を据えて取り組んでいきます。

先に申し上げた通り、当社の経営の根幹は「人」にあります。お客様を思い、社員を育て、社会に貢献することを基礎とする会社であり続けられるよう、今年度も努めていきます。

小泉産業
グループの
事業紹介

# 空間創造の
# 幅広いニーズに
# グループ力で
# 応える

住まいから働く場まで。
その空間づくりにかけるお客様の思いに寄り添い、
グループの総合力でお応えする——それが、
小泉産業グループの使命です。
人々の暮らしや仕事に関わるあらゆる場所に、
コイズミの技術と商品が息づいています。




## 照明事業

最先端の技術を
駆使した
スマートな
照明環境を創造

空間づくりにおける照明設計と、照明器具の企画・開発を、住宅・店舗・施設の各領域で展開しています。施主様のご要望に寄り添うご提案を行いながら、最先端の技術を駆使したスマートな照明環境の創造に取り組んでいます。



## 家具事業

ライフスタイルを
快適にする
「総合デスクメーカー」
を目指す

50年以上にわたり学習家具を展開しています。今後はさらにマーケットインの発想を取り入れ、子どもから大人まで、人々のライフスタイルを快適にする「総合デスクメーカー」を目指して取り組んでいきます。




## 物流事業

高品質な
物流サービスを
幅広いお客様に
提供

小泉産業グループ内外の幅広いお客様に物流ソリューションを提供しています。社員一人ひとりが物流のプロとして高品質なサービスを提供し続けることで、お客様からの厚い信頼を築いていきたいと考えています。



## 設備機器販売
## 及び施工事業

全国規模の
営業体制を強みに
快適空間づくりを
全力でサポート

全国7か所に拠点を持ち、住宅・店舗・施設市場の設備機器販売及び施工を手掛けています。お客様の求められる理想の空間づくりに寄り添い、貢献できるよう全力でサポートしています。



## セットアップ
## サービス事業

多様な施設を対象に
セットアップ事業を
展開

ホテル・オフィスをはじめとしたさまざまな施設を対象に、什器や家具のセットアップ事業を展開しています。事業のベースとなる人材育成に取り組みつつ、業態や取り扱い商品の拡大にも力を注ぎ、事業の成長を目指します。

コイズミ照明株式会社

# オリジナリティある
# 商品とサービスを
# 世に送り出し続けたい

コイズミ照明株式会社
代表取締役社長
梅田 照幸



## マーケットイン発想で「他にはない価値」を創る

照明専業メーカーとして、時代の先端を行く新たな価値を創造し、お客様から最初にお声掛けをいただく「ファーストコールカンパニー」になる――そのようなビジョンを描き、以前よりさまざまな改革に取り組んできました。営業では、市場の変化に的確に対応できるよう見直した組織が順調に機能してきました。商品では、BIMによる新たなデータ供給の仕組み導入のほか、これからのオフィスはどうあるべきかを追求したLEDだからできる照明器具の開発など、オリジナリティを打ち出すことができました。これは、ブランドステートメント「__違う発想がある」を社員に浸透させ、マーケットイン発想で「他にはない価値を提供する」ことを徹底し続けた結果だと思います。この改革は、お客様からも評価をいただいており、今後の大きな成果につながると手ごたえを感じています。

2020年度もこの流れを止めることなく、チャレンジを続けていきます。設計事務所様などプロのお客様の要望に対しては、配光・色温度・グレアなどから商品スペックを自由に選べ、短納期での出荷にも対応できる柔軟な体制を整備します。また店舗・施設用のカタログは、大きな商品群ごとへの切り替えを進めるとともに、商品と連動したBIMによるデータ提供を含むプランの支援やDALIによる制御などの情報提供も充実しています。そのほかにも、スマートシティ構想を見据えた新しい街づくりへの提案やグレードアップした高級リビングルームの研究、あかりを通じた人の心理や健康へのアプローチなど、多岐にわたる取り組みを進めています。

## ITを活用し、生産性と顧客満足の向上を図る

グループの総合力を活かすという面では、施設家具を含めた照明事業、設備などの搬入・設置を行うホリウチ・トータルサービス、コイズミ物流によるワンストップサービスは、お客様にとってもメリットが大きいと考えていますので、もっと積極的に進めなければならない課題だと考えています。

新型コロナウイルスの件もあり、生産性を高めお客様に貢献するデジタル化の推進が不可欠だと認識しています。そのために、本社の企画部門では、2020年度の下期に向けて、新たな取り組みに着手しています。また当社は、専業メーカーでは先行して、全営業社員がタブレット端末とスマートフォンを持つなど、IT活用への理解は進んでいますが、まだまだ充分とは言えません。2020年度はお客様との情報収集や提供のあり方から、リモートワークなどの働き方改革まで、幅広くIT活用を推進するとともに、しっかりと効果検証し、コミュニケーションの希薄化などの問題が起こらないようにしていく考えです。

当社は照明の会社です。最先端の技術を駆使し、今までにない、オリジナリティあふれる商品・サービスを世に送り出したい。それはメーカーとして心躍ることであると同時に、お客様、ひいては社会への貢献にもつながると確信しています。

2020年度も全力で取り組んでいきます。

# YU KIRORO



1

**宿泊施設**

YU KIRORO

所在地／北海道余市郡
事業主／ Kiroro Resort Holdings Co.,Ltd.
設計／株式会社イリア 様
内装／株式会社丹青社 様
建築施工／伊藤組土建株式会社 様

**1.** 客室入口の壁面にはブラケット照明を設置し、連続性を持たせる。株式会社イリア様と、前回共に取り組んだホテルで使用したガラスの型を再現し、ブラケットを作った
**2.**「YU KIRORO」ロビー。吹き抜け空間に、雲形シャンデリアがひときわ大きな存在感を放つ

北海道のスキーリゾートの中にあるコンドミニアム「YU KIRORO」は、2019年12月にオープン。当社は照明設計と造作家具の製作を担当し、コンドミニアムらしい高級感を演出するための高難度のご要望に、コイズミ照明の総合力で貢献しました。

## 力を合わせ、高難度のプロジェクトを完遂

照明計画では全フロア・全108室を担当し、カタログ製品と多くの特注品を納品しました。共用部では非日常的な空間を演出する一方、専有部では長期滞在できるよう日常性も重視。お客様に最高の時間を過ごしていただくための照明計画とそれに適した照明器具をご提案しました。

中でも特徴的なのは、「北海道の自然」を五感で感じられるよう株式会社イリア様によってデザインされたロビーに浮かぶ雲形シャンデリアです。「ポリゴン形状（多角形）のシャンデリアというオーダーをいただき、FRPに和紙を貼って製作するアイデアをご提案。短納期でしたが、長年の経験を活かし対応することができました」（瀬戸）。その後も色温度をイメージに近づけるためのランプの検証、「左官仕上げを施した壁に当たる光の細かな角度の調節」（熱田）など、現場でも試行錯誤を繰り返しました。

設計をLCR東京が行ったため北海道との物理的な距離がネックでしたが、そこはすみやかな社内連携でカバー。「札幌営業所の伊藤を介して施工会社様や電気工事会社様に早い段階で面会。お陰で、東京での決定事項を現場とスムーズに共有することができました」（安達）。「規模が大きく、納期もタイト。これまでにない難しいプロジェクトでしたが、チームワークと他メンバーのサポートで乗り越えられたと思っています」（伊藤）


2

照明



［照明設計］
コイズミ照明株式会社
市場開発本部
首都圏市場開発統括部
LCR東京
第1設計室
熱田 友加里



［照明器具設計］
コイズミ照明株式会社
商品管理統括部
特機商品部
製作室
瀬戸 正治



［開発営業］
コイズミ照明株式会社
市場開発本部
首都圏市場開発統括部
施設営業部
第1開発室
安達 匠



［営業］
コイズミ照明株式会社
営業本部
札幌営業所
伊藤 雅之


3


4

**3.** 客室（102室）には当社が製作したさまざまな家具が設置されている
**4.** ノックダウン式にして納入したクローゼット。家具は全て、見た目の高級感と耐久性を重視した

## グループ一丸となり、お客様ファーストの提案を

造作家具製作を担当したのは、2019年度の戦略的組織再編によりコイズミファニテックから当社に移管された施設家具事業部です。移管後の初仕事となった本プロジェクトには、一同強い意気込みを持って取り組みました。

お客様が高額で購入されるコンドミニアムということもあり、家具の品質管理は独自の社内規格を適用し、徹底しました。また、スキー板を施設に直接持ち込むといった用途上の特性を鑑み、家具に防水加工を施す工夫をしています。「大型のクローゼットなどは完成品をエレベーターで運ぶのが難しいため、急きょノックダウン式（組立式）にして納品することに。ノックダウン式の施工は難度も高いですが、コイズミファニテックで培ったノウハウを活かした施工会社様への説明書を作成し、現場での精度の高い設置を実現しました」（芳野）

「グループには、照明と施設家具に加え、設備などの搬入・設置を行うホリウチ・トータルサービスやコイズミ物流といった会社もあり、お客様にとってメリットが大きいワンストップサービスを提供できます」（井上）。今後もお客様ファーストのご提案をできるよう、グループ一丸となって積極的に取り組んでいきます。

施設家具



［製作］
コイズミ照明株式会社
施設家具事業部
芳野 直樹



［営業］
コイズミ照明株式会社
施設家具事業部
井上 善夫

# Hoop Dining Court

**複合商業施設**

Hoop Dining Court

所在地／大阪市阿倍野区阿倍野筋

事業主／株式会社近鉄百貨店 様

設計／株式会社スペース 様




Hoop 外観。駅前施設ということもあり、日々多くの人が行き交うにぎわいのスポットになっている




パブリックスペースは緑をライトアップして憩いの場を演出




[開発営業]
コイズミ照明株式会社
西日本営業本部
近畿店舗営業部
商環境開発室
(担当当時)
谷藤 好恵



[開発営業]
コイズミ照明株式会社
市場開発本部
近畿市場開発統括部
店舗営業部
商環境第一開発室
吉川 未桜



[照明設計]
コイズミ照明株式会社
市場開発本部
近畿市場開発統括部
LCR大阪
奥 芳貴





1

## 「回遊」と「滞留」をあかりでコントロール

大阪市の超高層ビル「あべのハルカス」に隣接するファッションビル「Hoop」。その地下1階、エリア初となるフードホール「Hoop Dining Court」は、インバウンドの観光客も多くにぎやかな立地の特性を活かした、「CIRCUS（サーカス）」というデザインコンセプトで計画されました。空間設計を手掛けられたスペース様がコンペに参加される際、光をデザインする役割としてお声掛けをいただいたのが2018年初頭。「設計デザイン会社から真っ先に声をかけていただく『ファーストコールカンパニー』となることを目指していたため、空間デザインのコンペ初期段階で参画できたことは、とても光栄なことであり、プロジェクトへの思い入れもより強くなりました」（谷藤）

照明デザインの核に据えたのは、昼間と夜間の利用目的の違いに着目した、利用者の「回遊」と「滞留」のバランスを時間ごとで変化させること。日中は買い物客や近隣のオフィスビルに勤める方など、活動的な人が多く訪れるため、ライン照明を強くして利用者を誘導し、回遊性を向上。夜間はゆったりと過ごす食事会など滞在時間の長い利用が増えるため、スポットライトを強めてプライベート感と落ち着きを演出し、滞留性を高めるアイデアを提案しました。

「実施設計を進めるにあたって、ホール中央、八角形のライン照明のコーナー部分をシームレスにしたい、というご要望をいただきました。コーナー部分の継ぎの方法を幾通りも検討し、試作で実際の光り方を確認してシームレスな光を実現。細部にまでこだわることで、照明のコンセプトや空間の質を高めることにつながったと確信しています」（奥）

また、照明効果を関係者にご理解いただくため、スペース様と事業主様、施工会社様を当社R&Dセンターにお招きして検証会を開催。「実際の光環境に近い形を体感していただいたことで皆様との共通認識ができ、良いコミュニケーションにもなりました。また、その後発生した課題に対しても円滑に対応することができました」（メンバー一同）

## 会社の枠を超えたチーム力で魅力的な空間を創造

その後、フードホールに続き1階屋外のパブリックスペースの照明プランも任せていただけることに。人々が憩い、心を休められる空間を創出するべく、夜間になると植栽帯が浮かび上がるような優しい光をご提案。施設の利用価値向上をお手伝いできました。

「Hoop Dining Court」は2019年9月にオープン。この間に、社内では定期人事異動もありました。「前任の谷藤より引き継ぐ前から検証会にも参加していたため、難しいプロジェクトでも各分野の担当者との情報共有で、チーム力を発揮できたと感じています」（吉川）。社内外の多くの関係者と綿密に連携して進められたことで、メンバーの想いを実現できたプロジェクトとなりました。




2




3

**1.**「Hoop Dining Court」。八角形のコーナー部をシームレスにしたライン照明が特徴
**2・3.** ライン照明とスポット照明のバランスを時間ごとで調整（2：昼間、3：夜間）し、回遊と滞留をコントロール

# HERO GYM

**店舗**

HERO GYM

所在地／東京都豊島区目白
事業主／株式会社 nextH 様
設計・施工／株式会社フェニックス 様
販売元／有限会社プラスライト 様



「HERO GYM」入口。落ち着いた雰囲気の中、トレーニングへの意欲を掻き立てる

## 「筋肉を強く、美しく見せる」

「日本最高峰」を掲げるトレーニング専用ジム「HERO GYM」は、2019年7月にオープン。当社は照明設計を担当し、機械と人間の肉体の美しさが映えるモノトーンの空間づくりに貢献しました。

かねて複数のプロジェクトに共に取り組んでいたプラスライト様から本プロジェクトの依頼をいただいたのは、2019年初めのこと。照明設計に課せられたテーマは「トレーニング中とポージングの際に鏡に映った筋肉を強く、美しく見せること」、そして「利用者がトレーニングに集中できるよう眩しくしないこと」でした。

「以前に担当したジム案件の経験を基に、筋肉の隆起感を出し強く見せるためには細い光が、筋肉を美しく見せるために色はオレンジの電球色が効果的と考え、まずは改装前の現場に照明器具を持ち込み、施主様に体感していただきました」（濱田）。細い光を使うことについては施主様、設計・施工監修を担ったフェニックス様の双方より賛同を得ましたが、光の色については、異なる意見も出て、少し課題が残りました。次に東京ショールームにて検証会を実施。細い光で眩しくない照明器具を5、6種類用意し、3パターンの光の色を体感いただきました。その結果、自然な筋肉の色合いに近い温白色の採用が決まりました。「検証会で当社の照明に関する幅広い知識とノウハウが活きたご提案ができ、関係者が前向きな想いで意見交換を行えたことで、全員が納得できる結果を導き出せたと思います」（大久保）

## 複雑化・多様化する ニーズに挑戦し続ける

もう一つ、当社の強みを活かしたご提案ができたのは、1階の受付から地下1階のトレーニングエリアに行くまでの動線の演出です。濱田は自らジムに足を運んで雰囲気を体感し、照明プランに落とし込んでいきました。「ロッカーでは真っ白な明るい光の使用を避け、他の人の目が気にならない落ち着いた気持ちになれるようにしました。そしてトレーニングエリアへと続く廊下と階段では、リングに向かう格闘家のように闘志を掻き立てるため、フラットな光ではなくユニバーサルダウンとスポットライトを使用。通路に複数の光だまりをつくり、徐々に気分を高めていく流れを演出しました」（濱田）

ユーザー視点を盛り込んだプランと綿密なご提案により、「HERO GYM」の照明設計はフェニックス様から高い評価を獲得。別件の照明計画もご依頼いただくなど、当社の店舗向け事業は新たな広がりを見せています。

「本プロジェクトを通して、LCRという空間設計における照明のプロフェッショナルチームを持つ当社の強みも感じていただけたと思っています」（大久保）。照明設計は、エンドユーザーのニーズに応じて複雑化し、多様化します。当社はこれからも挑戦を続け、ユーザー様や施主様にご満足いただける空間づくりに貢献していきます。



［照明設計］
コイズミ照明株式会社
市場開発本部
首都圏市場開発統括部
LCR東京
第2設計室
濱田 綾斗



［開発営業］
コイズミ照明株式会社
営業本部
首都圏営業統括部
市販営業部
東京西営業所
大久保 嘉彦



2



1

**1.** マシーンが並ぶトレーニングエリア。鏡を見る時、ユーザーがどの位置に立つか、など緻密に計算して照明設計を行った
**2.** 静かな雰囲気の受付＆ショップ。スポットライトは全体で約120台、ダウンライトは約80台納入した
**3.** 使われていないマシーンにも光を当て、鏡に反射させている



3

# 地獄温泉 清風荘

**宿泊施設**

地獄温泉 清風荘

所在地／熊本県阿蘇郡南阿蘇村
事業主／地獄温泉 清風荘 様
設計／株式会社村田建築設計所 様



地獄温泉 清風荘の外観。地震などで大きな被害があったものの、100年先も続く温泉宿を目指して再生中

## 旅館の「顔」の存在感を演出

阿蘇五岳の一つ、烏帽子岳に湧く地獄温泉。その温泉街にある旅館「地獄温泉 清風荘」は、2016年の熊本地震と大雨による土砂災害で大きな被害があり、現在も再生の途上です。2020年4月、ロビー、エントランス、駐車場の3エリアを内包した新築のエントランス棟が竣工。当社はその照明計画を担当しました。

きっかけは2019年の夏でした。熊本営業所の出口は、得意先でエントランス棟の照明器具を記した図面を偶然確認。「記されていたのは他社の照明器具でした。しかし、村田建築設計所様に連絡するとまだ正式には決まっておらず、できれば照明設計のプロと協力して計画を進められる会社と仕事をしたいとのことでした。私は照明設計のプロフェッショナルチームであるLCR福岡の松井と村田建築設計所様を訪問。過去の実績などをお見せしたところ高い評価をいただき、当社に提案依頼をいただくことができました。お客様の課題に積極的にアプローチしたことが成果を生みました」（出口）

照明計画で重視したのは、器具の数や明るさだけに頼らず、震災後の新たな「顔」となるエントランス棟の存在感を演出することでした。建物はコンクリート躯体と木の切妻屋根で構成され、梁や母屋、垂木が直接見えるため天井に照明器具を付けることはできません。そこで梁横や壁面からスポットライトで照射するプランとともに、余分なものを削ぎ落とし、あらゆる建築意匠に溶け込める照明器具「arkia」を提案し、課題を解決しました。「器具選定はカタログだけではディテールが伝わりにくいですが、村田建築設計所様に直接連絡を取って照明シミュレーションソフトや福岡ショールームでの検証を提案したことで、施主様の要望を具現化することができました。照明設計の担当者が積極的に外部の方と折衝する、コイズミらしいフットワークの良さが活きたと思います」（松井）



3



1



2

1.あたたかい雰囲気を与える夜間の外観。照明の明るさだけに頼らず、自然と調和する温泉宿の雰囲気を重視した
2.昼間のエントランス棟。外光が適度に射し込むため、照明は外光を補完する明るさに抑えている
3.夜間のエントランス棟。「arkia」で梁横や壁面から照射し、落ち着いた雰囲気を演出している

## お客様の思いに応え、地域に貢献する

施工では、出口が電気工事店様、代理店様との綿密なコミュニケーションを徹底。「現場では計画通りに進まないことがしばしばあります。そこをコミュニケーションでリカバリーし、現場をスムーズに進行するのが私の役目。皆さんが気持ちよく仕事を進められるよう心掛けました」（出口）

当社の対応は施主様や村田建築設計所様からも高い評価をいただき、現在は別棟の照明計画にも取り組んでいます。

「熊本地震は地元に大きな爪痕を残しました。施主様は、震災前の『清風荘』の雰囲気を残しつつ再生させたいという強い思いを持っておられます。より良い照明環境のご提供を通して、その思いに応えていきたいです」（出口・松井）

100年先も続く旅館としての再生を目指す「地獄温泉 清風荘」。その事業に関わっていくことは、当社にとって重要な地域貢献になると考えています。



［照明設計］
コイズミ照明株式会社
西日本営業本部
九州営業部
LCR福岡
松井 和也



［営業］
コイズミ照明株式会社
西日本営業本部
九州営業部
熊本営業所
出口 尚之

# 2019 IES Illumination Awards

## Award of Distinction （北米照明学会賞 最優秀賞）受賞

2018年に完成した「京都 神楽岡　蓮月荘」の照明デザインが評価され、当社はIES（北米照明学会）主催の「2019 IES Illumination Awards(北米照明学会賞)」の「Award of Distinction（最優秀賞）」を日建設計様との連名で受賞しました。

IES（Illuminating Engineering Society）は、照明分野を広く網羅した世界中のメンバーで構成される、100年以上の歴史を持つ世界規模の権威ある学会です。同賞は、照明設計を対象とした国際的な照明デザイン賞。専門性、創意工夫、オリジナリティを評価の対象とし、世界各国からの応募作品の中から選ばれます。「Award of Distinction（最優秀賞）」は、その中でも特に優れた功績を称える最高レベルの照明デザインに授与され、過去には数々の著名な建築物や照明デザイナーなどが受賞しています。

2019年度の応募総数は669。その中から佳作257件が選ばれ、最優秀賞に輝いたのはその中のわずか4件でした。「受賞の報せを受けた時は自分の耳を疑いました。日本の伝統的な考えに根ざしながらも現代の要素を取り入れた表現が、評価されたのかもしれません。今回の受賞をきっかけに、顧客満足を実現するだけではなく、その先にある社会に新しい価値を提案することも重視するなど、社内の意識にも変化が起きています。これからも、お客様にご満足いただくことに加え、社会にインパクトを与えられる照明デザインを行っていきたいと思います」（熱田）



北米照明学会主催「2019 IES Illumination Awards」の授賞式。左から熱田、日建設計 竹内様、中村様



1　撮影：鈴木 文人



2　撮影：鈴木 文人

1. 照明コンセプト「光の面で空間を広げる」を具現化した導光板照明による「光の欄間」
2. 建物名の世界観を表現した行燈「浮葉」

# 京都 神楽岡　蓮月荘

**宿泊施設**

京都 神楽岡　蓮月荘

所在地／京都府京都市左京区

事業主／トラスコ中山株式会社 様

設計／株式会社日建設計 様



「蓮月荘」外観。京都の風景に溶け込む落ち着いた佇まい

撮影：鈴木 文人

## アクリルと和紙を駆使した高難度の照明器具

「京都 神楽岡　蓮月荘」は、トラスコ中山様のゲストハウス兼保養施設で、京都らしい伝統と格式を備えた建物をめざして建設されました。当社は建築コンセプト「伝統と革新の融合」を実現するため、アクリルと和紙を組み合わせた二つの照明器具をご提案しました。

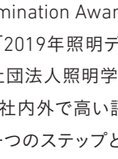
その一つ『光の欄間』は、光を均一に面発光させる導光板照明を用い、照明コンセプト「光の面で空間を広げる」を具現化しました。設計を統括した日建設計様から、日本建築らしい“和”テイストの導光板を作りたいとのご要望をいただき、アクリルに和紙を挟む手法にチャレンジすることに。「老舗問屋に通い研究を重ねた和紙選びや工場で何度も検証し行きついた最適なアクリルパネル」（松本）のサンプルがお客様の心に響き、採用が決定。「LCRの提案力と、プロダクトに落とし込む製作室の力量、そしてアクリル板製造会社との連携が功を奏したと思います」（小泉）

もう一つは、月の光に照らされた蓮の池を表現した行燈『浮葉（うきは）』。オーナー様の強い想いが込められた施設名「蓮月荘」の世界観を表現するため、13層のアクリルに和紙を封入する手の込んだ手法を選びました。「『浮葉』4台分、計1,298枚の和紙を手作業で用意しました。それをアクリルに貼り付ける工程はわずか一日で終えなければならず、時間との闘いでした」（熱田）

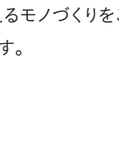
## プロ意識を持ち、仲間を信頼する

プロジェクト進行の過程では東京のメンバーと京滋営業所の片野とが綿密に連携し、現場の情報をすみやかにキャッチアップして設計に反映させることができました。「各自がプロ意識と責任感を持って取り組み、仲間を信頼する。そんなコイズミらしい強さが発揮できたと思います」（熱田）

「京都 神楽岡　蓮月荘」は「2019 IES Illumination Awards」（北米照明学会賞）や「2019年照明デザイン賞」優秀賞（一般社団法人照明学会 主催）を受賞するなど、社内外で高い評価を得ています。これを一つのステップとして、お客様の期待に応えるモノづくりをこれからも進化させていきます。



［開発営業］
コイズミ照明株式会社
市場開発本部
首都圏市場開発統括部
施設営業部
小泉 一弘



［照明設計］
コイズミ照明株式会社
市場開発本部
首都圏市場開発統括部
LCR 東京
第1設計室
熱田 友加里



［製作］
コイズミ照明株式会社
商品管理統括部
特機商品部
製作室
東京グループ
松本 慎二郎



［営業］
コイズミ照明株式会社
営業本部
近畿市販営業部
京滋営業所
片野 敬介

## コイズミファニテック株式会社



# 「選択と集中」を推進し「総合デスクメーカー」へ

コイズミファニテック株式会社
代表取締役社長
矢本 博康

### データに基づいた「マーケットイン」を実践

2019年度は「選択と集中」に注力し、経営体質の強化を推し進めた1年でした。海外を含めた各拠点の見直しのほか、取扱商品もメインの学習家具に特化していきました。また、営業面では取扱商品の変更に即した体制の見直しや、適正在庫を実現するための販売予測の精度向上に着手。さらに春日部の倉庫を日本一の家具生産地である大川地区に移し、本社倉庫との2拠点運用へとシフトしました。これらの取り組みには一定の手応えを感じており、2020年度もより力を入れて推し進めていく考えです。

核となるのは、ユーザーや市場のデータに基づいた「マーケットイン」の商品開発と販売です。今年度は、ユーザーのためのコンテンツを充実させるべく自社Webサイトを刷新。オムニチャネル戦略で商品の認知度を高め、そこから見えてくる市場のニーズをしっかりと研究・分析するデジタルマーケティングを推進します。

当社は50年以上にわたり学習家具を提供してきましたが、時代とともに人々のライフスタイルは多様化し、商品ニーズも日々変化しています。在宅ワークなど世の中の働き方の変化を捉えた商品を展開し、今後は「学習机メーカー」から人々のライフスタイルを快適にする「総合デスクメーカー」へと変化を遂げていきたいと思っています。また、インターネット販売や異業種とのコラボレーションも視野に入れ、エンドユーザーとのタッチポイントを増やしつつ、販売店との協働でデスクの魅力をお届けしていきたい。人々にとってデスクが変わらず「必要な物」であり続けられるように、業界のリーディングカンパニーとしての存在感を示し続けていきたいと考えています。

### 新時代の会社へトランスフォーム

そのほか、大川地区への1拠点運用による物流戦略のさらなる進化や、業務面でのIT導入推進など、多方面にわたり強化を図ります。

「選択と集中」は当社にとって大きなチャレンジです。安定的かつ継続的に成長していくために、新しい時代にふさわしい会社へとトランスフォームしていかなくてはなりません。社員とともに、粘り強く取り組んでいく所存です。



# デザインと機能性を追求した新しい学習机



[開発担当]
コイズミファニテック株式会社
家具事業部
商品企画課
坂口 勝



[開発担当]
コイズミファニテック株式会社
住宅家具事業部
商品部
企画開発課
企画開発室（担当当時）
徳尾野 仁



部門をまたいだ定期的なミーティングが開催され、社内の意見交換も活発です

### “違う発想”でマーケットに求められる商品を提供

コイズミファニテックは、1960年代より学習机のリーディングカンパニーとして業界をリードしてきました。2019年度はより多様化していく市場のニーズに応えるべく、3つの新商品「Faliss」「Brost」「PEG」を発表しました。

「学習机に特化する事業変革を進めて、社内のリソースを注力したことで、これまでにない発想での商品開発に挑戦することができました」（坂口）

新商品の開発は、現場に近い営業担当者と意見交換を行い、学習机の購入を検討している方や、実際にお使いの方からのご意見も大切にし、刻一刻と変わるマーケットのニーズを見極めながら進めています。

「『Faliss』はリビング学習のニーズに応えたデスクですが、子どもの学習机としてだけではなく、リビングに設置した時に、家族で共有して使える家具としてデザインしました。スライドするタブレットスタンドなど、コイズミが得意とする機能面にもこだわりました。発表後は、特にマンションなど集合住宅の多い関東圏での評価が高く、販売も好調なことから、ベストなタイミングで投入できたと考えています」（坂口）

## Faliss
ファリス

“リビングから始めるデスク”“家族みんなが使えるデスク”がコンセプト。ノートや本を広げても使いやすく、リビングでもじゃまにならないサイズを徹底的に検討し、奥行48cmというサイズを打ち出しました。机の下にすっきり収まるスツールは、背もたれをなくしたことで圧迫感もなく、リビングでも使いやすいと好評です。





## Brost
プロスト

人気のインテリアスタイル、ブルックリンテイストを取り入れたデザイン。ダイニングテーブルで学習していたお子様が、中学入学を機に学習机を購入する際などに選ばれる一方で、大人向けの書斎デスクのニーズにも応えています。流行のデザインに加えて、フルオープンの引き出しや可動仕切り板など、コイズミが得意とする学習机の機能性も兼ね備えています。




## PEG
ペグ

DIYで人気の有孔ボードを学習家具の構造体に採用した商品。オプションパーツを使って自分だけのオリジナル収納を楽しんでいただくことができます。“インスタ映え”も意識しました。有孔ボード部分の配色は、どんなインテリアにも馴染みやすいカラー。今シーズンは新カラーも加わります。

### 挑戦を支える高品質なモノづくり

「商品開発では常に、デザインと機能、製造効率のせめぎ合いがあります。しかし、開発担当者として譲れない部分は確信を持って、なぜこのデザインと機能が必要なのかを工場の現場担当者に説明し、納得して取り組んでもらっています。例えば『Faliss』は、リビングに馴染むよう、これまでの学習家具には使われることの少なかった明るいカラーを採用していますが、薄色の塗装の場合、原材料である木材の選別や管理の手間も増えます。また、初めて扱う部材も多く導入しました。その分工場には苦労をかけていますが、お客様に満足してもらえるデザインと機能にこだわり、かつ品質も保つことができるように取り組みました」（徳尾野）

今回の新商品は、デザインの振り幅を広げる一方、コイズミファニテックが学習家具の開発でノウハウを蓄積してきた、機能性も兼ね備えています。

「私たちは、長年、より良い学習環境とは何かを真剣に考え続けてきたからこそ、機能面の開発には、自信があります。この強みを活かしながら、デスクの可能性を追求していきます」（徳尾野）

徹底したマーケットインの思想と組織一丸となった品質へのこだわりで、変化するマーケットニーズに“違う発想”を加え、自分たちにしかできないモノづくりを進めていきます。



# グループ各社の協働で「上質な眠りの空間」を提案

**ショールーム**

BED ROOM RECIPE

所在地／株式会社ルービックJP本社内
福岡県大川市大字上巻182-3




ショールームのエントランス



［商品企画］
コイズミファニテック株式会社
家具事業部
商品企画課
勝木 武志

### コイズミの商品力と提案力で新たなショールームを開設

2020年1月、国内最大級の家具生産高を誇る福岡県大川市に、グループの総合力を活かした新たなショールーム「BED ROOM RECIPE」を開設しました※。大川市は家具の一大生産地。年間を通してインテリア関係者が訪れる地で、コイズミグループの照明や家具、家電といった幅広い商品力とプランニング力で、「上質な眠りの空間」を提案します。

「近年高まる“眠り”への多様なニーズにグループの総合力で貢献できると考えました。千差万別の眠りに対応できる特長あるマットレス、制御機能で多彩な空間を演出できる照明、加湿しながら楽しめるアロマなど、快適な眠りにアプローチできる（小泉成器の）家電製品などの商品力に加え、それをプランニングできるプロ集団がいることが、グループの強みです」（勝木）

ショールームは、コイルの組み合わせで上質な眠りを創るマットレスを中心に、ホテルをイメージした居室空間と、一般家庭をイメージした寝室の二つのパターンを展開。コイズミ照明の制御システム「TRee（ツリー）」で実現できる、快適な暮らしも体感できます。また、家電や周辺小物は、小泉成器が多様な商品ラインアップの中からご提案しています。

来場したお取引先様からは、「あかり（照明）を音声で調節したいという消費者のニーズは高い。便利で使い勝手の良い商品も揃っていて、“眠り”空間を今よりもっと楽しみな空間にできそうだ」「グループ各社の強みを活かした幅広い空間提案ができるだけではなく、窓口がコイズミで一本化されることで、本来の業務に専念できる」など、上々の評価をいただいています。

今後の市場拡大が期待される「眠りビジネス」への足掛かりとなる可能性を背負ってスタートしたショールーム。コイズミのグループ力を発揮して、お客様に新たな価値を提供していきます。








1. 一般家庭の寝室をイメージした空間。AIスピーカーと小泉成器が取り扱うスマートテレビを連動しています
2. コイズミファニテックのデスク「Brost」
3. ホテルの客室をイメージした空間。宿泊施設に欠かせない小物家電も多く取り揃えています

※マットレス製造委託先のルービックJP様（コイズミファニテックが代理店として業務提携している、大川市に本社を置くマットレス製造メーカー）のショールーム内に設置

# コイズミ物流株式会社



## 物流の「品質」を支える「人材」を、経営の根底に据える

コイズミ物流株式会社
代表取締役社長
八田 康

### 現場の生産性を高め業績向上

当社にとって、2019年度は「中期3カ年計画（2018年度～2020年度）」の折り返し点でした。重点施策として取り組んでいる3PL※を中心としたグループ以外との取引が拡大し、業績が向上。この中計で事業拡大を目的として、2018年度に開設した春日部事業所が本格稼働したほか、同年度に導入した大型の自動仕分け機が荷役の生産性を大幅に向上させてくれたことが、成長の大きな支えになりました。社員教育ではOJTの一環として小集団活動を推進し、能動的に仕事に取り組む風土づくりが進んだだけではなく、前年に続き「物流技術管理士」の資格を1名が取得。こうしたスキル強化の取り組みも業績向上の底力になりました。

### ITを活用し、提案力向上につなげる

2020年度も当社の強みを活かし、さらなる業績向上を目指します。そのためには、先に述べたグループ外取引の拡大が必須です。当社の強みである共同配送便と固定区域便を効率よく使い分けて進めたいと考えています。また2020年度に予定している福岡県の新拠点開設の準備、および既存拠点の機能変更も合わせて取り組み、確実に成果につなげていきます。

もう一つ、業績向上の大きな鍵となるのがITです。物流情報システムを活用して荷役の生産性を向上させつつ、特に今年度は物流販売管理システムを刷新して事務の生産性も高めます。ITをフル活用することで、現場から経営に至るあらゆる情報を取り込むことができます。そこに、長年にわたりグループのさまざまな製品を取り扱ってきた経験とノウハウを合わせることで、より優れた物流システムの設計と提案につなげていきたいと思っています。

社員教育にも引き続き力を注ぎます。研修や資格取得の推進、小集団活動はもちろん、新卒だけではなくキャリア採用も積極的に行い、会社に新しい風を吹き込んでより良い企業風土を醸成していきます。物流の「品質」は当社の企業コンセプトであり、受け継がれてきたDNA「三方よし」の体現です。そして「品質」を作り、支えるのは人材に他なりません。人間性の尊重を経営の根底に据えることを決して忘れず、今年度も全力で取り組んでまいります。

※3PL：荷主様に物流改革を提案し、包括して物流業務を受託し遂行すること





広さと機能性を兼ね備えた柳川第二倉庫

# 家具配送の全体最適を考えた効率化の提案

### 配送拠点一本化の提案で家具配送の課題を解決

物流業界は、慢性的な人手不足という大きな課題を抱えています。中でも家具配送は大型で重量があり、荷物の積み下ろしなど、高齢化が進むドライバーには大きな負担となるため、取り扱う運送会社も少なくなっています。そのような配送の課題に加え、コイズミファニテックでは在庫に関する別の課題も抱えていました。そこで、コイズミ物流は、学習家具在庫を九州エリアに集約し、家具の一大生産地である大川（福岡）を拠点とした全国配送網の構築を提案しました。

「大川は大手家具店の物流拠点が多数存在し、家具配送ネットワークが充実しています。その物流拠点で商品を引き渡すことができれば、納品までの物流ルートに無駄がなく、品質劣化も防ぐことができます。この物流ルートを家具業界では“大川渡し”と呼んでおり、家具の配送に長けた地元の運送会社が底支えしています。その中でも当社と長年のお付き合いがあり、最も信頼のおける協力会社様にコイズミファニテック分の倉庫内入出荷作業と指定先までの配送を一括で委託し、家具配送に関わる多くの皆さまに貢献したいと考えました」（阿部）

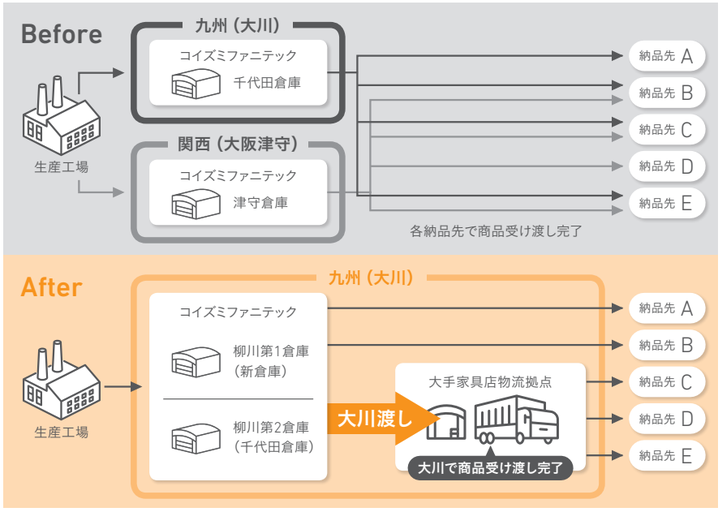
従来、コイズミファニテックの学習家具の在庫は、春日部（埼玉）と津守（大阪）に分散していましたが、2019年度に春日部の在庫を、2020年度には津守の在庫を大川に移管しました。「配送網の変更は、得意先のご理解を得た上で進めなければなりませんし、情報システムの改修も伴います。そのため一度に拠点を集約するのではなく、二段階に分け、できるだけリスクを抑える方法を提案したことで、大きな混乱なく進められました」（阿部）

今回のプロジェクトは、コイズミ物流にとっても、輸配送効率化による$CO_2$削減や家具業界配送網活用のさらなるノウハウ蓄積という点で、実り多きものとなりました。今後もお客様と物流業界、そして社会にも貢献できるように、新たな挑戦を続けていきます。


家具配送に長けた協力会社様とWin-Winの関係を構築しています



［プロジェクト担当］
コイズミ物流株式会社
事業本部
第二事業部
柳川事業所
阿部 貴志



## 株式会社ハローリビング



# 強みを活かし、業界での存在感を高める

株式会社ハローリビング
代表取締役社長
石尾 泰裕

### 人材力と商品力を成長に結びつける

住宅設備機器などの販売と施工を行う当社は、住宅業界に軸足を置いて事業を展開しています。2019年度は全体では前年並みの業績となり、主力4事業（新築戸建、戸建リフォーム、分譲マンションオプション、ストック非住宅）の中では戸建リフォーム事業が最も順調に推移しました。他方、キャリア採用により経験豊富な人材を増員したほか、エコロジーにつながる家電や内装材を取り揃えラインアップを充実させるなど、成長のためのベースづくりを進めました。

2020年度は、この良い流れを成長に結びつけたいと思っています。特に分譲マンションオプションの市場は存在感を発揮できる領域と捉えています。東京から鹿児島までの広範囲に営業所を持つ体制を活かし、各地のインテリアコーディネーターや施工業者様とのネットワークを拡充、全国区で事業展開するデベロッパーの期待に応えていく考えです。戸建事業では新築・リフォームともにハウスメーカー様との関係強化を図りつつ、多彩な商材を組み合わせた提案力とフットワークを武器に新規顧客も増やしていきます。

### 家づくりをお手伝いする面白さと感動を

これらを実現するためには人材の育成が欠かせません。私は常々、社員に「指示された通りに仕事をするのではなく、そこに課題を見つけ、解決の方法を模索し、自分なりの提案をしてほしい」と伝えています。当社の事業は、住宅という人生の大きなお買い物をされるお客様に寄り添い、ともに悩みながら、社内外のネットワークを活かしたサービスと、多彩な商材をご提案すること。そこにはさまざまなアイデアと工夫で家づくりをお手伝いする面白さと、お客様の人生に貢献する感動があります。社員にはぜひその醍醐味を味わってほしい。ITを活用したご提案や業務効率化はもちろん、テレワークやWeb会議システムといった新たなワークスタイルも柔軟に取り入れ、社員が力を発揮しやすい環境を整えていく考えです。当社の前進にご期待ください。



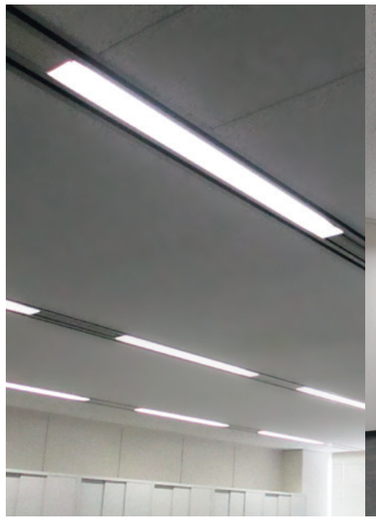
# 高い施工力でオフィスビルのLED化を支援

**オフィス**

オフィスビルのLED改修工事

所在地／大阪府大阪市中央区
事業主／アイカ工業株式会社様





オフィス部分はシステム天井用照明器具の入れ替えを実施



共用部はLEDダウンライトに入れ替えました

### 照明のLED化による省エネとコストダウンを提案

圧倒的な省エネと長寿命で照明に革命をもたらしたLED。一般家庭では着実に浸透している一方、オフィスや工場、倉庫でのLEDの普及はまだ進んでいません。2020年末には「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」により、規制基準以上の水銀を使用している蛍光灯と水銀灯の製造と輸出入が原則として禁止されます。そのためLED改修工事の需要が増えています。

ハローリビングでは、店舗や工場、倉庫、オフィスの照明のLED化を数多く手がけてきました。倉庫や工場の天井高10～15mでの施工や、作業時間が限定される既存オフィスでの施工など、それぞれの状況に応じた技術でお客様にご満足いただいています。

今回の工事は、アイカ工業様のオフィスビル（大阪支店）の照明を蛍光灯からLEDに改修するというもの。当社の役割は8階フロア全域の照明器具160台を休日の2日間で入れ替えることでした。事前情報によると入れ替え対象器具の約6割を占めるシステム天井用照明器具の入替作業が1台当たり20～30分かかるとのことでした。

このままでは2日間で作業を終えることは到底不可能だったため、事前に新しい器具を確認し、現行器具の取り外しから新しい器具の設置までを施工業者様と何度もシミュレーションして作業効率を追求。1日半で完遂することができました。

「LED改修工事は、建物の利用をなるべく止めないために短工期での施工が求められます。今回は事前に現物を確認することができましたが、大抵は現場に行って状況を確認しながら、臨機応変に、かつ効率よく作業を進めなければなりません。その点、当社には経験豊富で信頼のおける施工担当者が揃っていますから、難しい条件でも安心してお任せいただいています」（佐々木）

今後も、グループの総合力を活かし、照明器具の提案、販売、施工、アフターサービスまでをワンストップで行うほか、エネルギーマネジメント業者との協業による電気料金の見直しも含めた総合的な省エネソリューション提案へと活動の幅を広げていきます。



事前のシミュレーションで作業効率を追求し、施工時間を短縮しました



［プロジェクト担当］
株式会社ハローリビング
西部営業統括
西日本営業部
近畿営業所
佐々木 英夫

## 株式会社ホリウチ・トータルサービス



# 安全と施工の品質を高め、お客様の期待に応える

株式会社ホリウチ・トータルサービス
代表取締役社長
熊野 裕章

### 業績は好調を維持

近年、セットアップサービスの市場は拡大しており、中でもホテルとオフィスが好調な伸びを見せています。当社も多くのお仕事をいただき、2019年度も前期を上回る業績となり、好調を維持することができました。東京、大阪、愛知に自社倉庫を構え、デバンニングから保管・現場までの輸送を当社で一括で行うワンストップサービスを軌道に乗せたほか、研修による施工技術の向上、現場管理責任者の育成、女性をはじめとするスタッフ増員に取り組んだことも、それぞれ業績向上に寄与しました。

2020年度もポジティブな外部要因を可能な限り捕えつつ、経営面ではさらに地盤固めに注力し、成長を持続したいと思っています。「安全衛生管理の徹底」と「施工品質の向上」がその要となるのは言うまでもありません。2019年度に引き続いて現場の安全を追求し、現場社員、協力会社様の技術向上を目指す研修を継続します。また、それを実践した現場で積み上がったさまざまなノウハウを確固たる強みとし、さらに磨きをかけていくために従業員の増員も図っていきます。

### 業態・扱い製品・人材育成に取り組み、事業を拡大

大阪では今後、2025年の万博をはじめとした大きなトピックが控えており、そのビジネス機会を確実に獲得するため、今から態勢を整えていきます。一方で、好調なホテル案件に加え、オフィスや商環境（ドラッグストアやコンビニなど）の案件にも積極的に取り組んでいきます。また、近年当社への依頼が増え始めた厨房機器やフィットネス機器などの製品の取り扱いを増やし、受注拡大とノウハウの蓄積にもつなげていく考えです。そして、安全衛生管理の徹底と施工品質の向上に取り組みながら、搬入工程の組み立てや関係者との調整といった現場管理ができる人材を育てることで、事業を拡大させていきます。

今年4月、前任の権藤より社長職を引き継ぎました。セットアップサービスに求められる安全や品質の水準が高まる中、お客様のご期待にしっかりとお応えするべく、真摯に取り組んでいきます。





搬入作業は、一車両10分以内に終わらせるよう徹底しました

# 大型商業施設新装工事の搬出入管理

**商業施設**

エディオン なんば本店

所在地／大阪府大阪市中央区難波
事業主／株式会社 エディオン 様
内装工事／株式会社 スペース 様



難波の新しいランドマーク
エディオンなんば本店

### 難しければ難しいほどホリウチの力の見せ所

2019年6月、大阪を代表する繁華街である難波に、都市型家電量販店のエディオンなんば本店が開業しました。近年では、訪日外国人観光客にも人気のある活気溢れるエリアで、三方をアーケード商店街に囲まれ、真向かいには老舗百貨店と、これほど恵まれた商業立地はありません。しかし、このような環境は、建設工事や搬入においては、導線の確保が難しいことを意味します。当社は、コイズミ照明による実績紹介を機に、数々の大型プロジェクトを完遂したことに対する信頼をいただき、搬入業務全般をお任せいただきました。施工会社や什器メーカーなど約100社を統括し、この難題に挑戦しました。

現場作業のスペシャリストが滞りなく作業を進めました




「事前情報は、搬入口は1カ所、搬入期間は80日間で、深夜1時から早朝6時までの夜間のみ。試算では、搬入できるトラックは1日当たりたったの8車両でした。しかし、難しければ難しいほど挑戦したくなるのが当社のDNA。何とかしなければと、建設工事中に現地調査を行い、搬入経路の確認と他の搬入経路を模索しました。いざ搬入作業が始まってみると、やはりこのままでは納期に間に合いません。そこで現地調査と長年蓄積したノウハウをもとに、搬入口の追加を提案しました。途中で難航してもすぐに方向転換できるように、何通りもの筋書きを準備して、地域の皆さまや関係省庁との交渉や調整に臨んだ結果、1日当たり30車両以上を搬入可能にしました。さらに重要なことは、周到に段取りをしても、現場作業のスペシャリストが揃っていなければ、現場を安全に運営し、プロジェクトを完遂することはできないということです。強い責任感を持ち、高度なスキルを持った人材が充実していることも、当社の強みですね」（越前）

ホリウチ・トータルサービスでは、多くの実績に裏打ちされた搬入計画の立案とそれを確実に実行するスペシャリストが、お客様のプロジェクトを成功に導くことをお約束します。



［現場統括］
株式会社ホリウチ・トータルサービス
営業本部
施工管理室
越前 義男

# KOIZUMI TOPICS

小泉産業グループの経営の根幹は「ヒト」です。
2019年度も、社内外で関わるさまざまな
「ヒト」に向けた活動を展開しました。

## 1 次世代をになう「ヒト」のために






TOPICS 1

### 東京都市大学での「照明基礎講座」

将来をになう学生に
「あかりの価値」を伝える



川口教授が担当する、主に1年生を対象とした授業「都市デザイン」。毎年多くの学生が受講しています

当社は「60年以上にわたり蓄積した照明の知識を、社会に還元したい」「専門的にあかりと関わる可能性が高い学生に早い段階であかりの価値を伝え、あかり文化の普及に貢献したい」と考えています。

その思いに共感する、東京都市大学 都市生活学部の川口教授の授業「都市デザイン」で、「照明基礎講座」という講義を実施しました。コイズミ照明LCR東京（空間設計デザイン部門）の石田と河野が、照明の基礎知識から「あかり」の意味に気づき深掘りするためのヒントまでを幅広く解説。学生たちが与えられた課題について考え、発表する機会も設けました。発表に対して石田と河野は、今後の学びのヒントとなり、やる気を促す講評を行いました。「講義のポイントを捉えた発表が多かった」（石田・河野）ように、実りの多い機会となりました。



コイズミ照明 LCR東京の石田と河野が、学生の発表に対して、一つひとつ丁寧に講評を行いました

あかりは、生活のあらゆるシーンに存在し、大きな影響を与えていますが、ほとんど認識されていません。世界各国の都市デザインや建築設計、空間設計に関わってきた私の経験からも、建築の専門家でさえ、実務に携わるようになってから、あかりの意味や価値について気づかされることがたくさんあります。今回の活動は、将来をになう人材の選択肢と可能性を拡げる意味で、非常に意義深いと考えています。



東京都市大学
都市生活学部
川口 英俊 教授

### 受講した大学生の感想

高校時代に学習環境に合わないあかりで勉強した、嫌な経験がある。それを変えるような仕事がしたい
（板倉 夏帆さん）

光の当たり方や色で、モノの印象や見え方が全く違うことをはじめて知った。利用する人の立場で考えて、もっと勉強したい
（窪田 佳奈さん）

自身の生活に、あかりの特徴を活かした空間づくりを取り入れてみたい
（山下 千乃さん）

あかりを通して、空間や建物のコンセプトや戦略まで、幅広い視点で考えるキッカケになった
（進藤 裕太郎さん）








TOPICS 2

### デスク・コタツ寄贈活動

モノを送るだけではない
子どもたちとの交流を大切にする

東日本大震災の復興支援として2012年から始まった活動。小泉産業グループの学習机の寄贈に始まり、2016年からは小泉成器グループのコタツの寄贈も行うようになりました。活動の特徴は、社員が寄贈先の児童養護施設を訪問して、子どもたちと一緒に組み立てを行うこと。「単にモノを送るだけでなく、ヒトを通じて心も贈る」ことを大切にしています。

2019年度は新型コロナウイルスの影響で施設訪問は叶いませんでしたが、例年、寄贈先では、「さまざまな事情で施設での生活を余儀なくされている子どもたちにとって、一緒に組み立てる交流の場は、貴重な機会になっています」「自分で組み立てた机なので、今まで以上に勉強を頑張るようになりました」など、嬉しいお声をいただいています。

参加した社員からは「自社製品が子どもたちに喜ばれているのを目にして、仕事へのモチベーションがあがった」「子どもたちの純粋さとイキイキした姿に元気をもらった」など、当社にとっても意義深い活動になっています。また、当日の寄贈先での歓迎や、後日贈られてくる感謝の手紙や使っている場面の写真に、私たちも心を癒されています。

9年間で30府県、166施設に、デスク440台、コタツ230台を寄贈している活動は、今後も継続して実施していきます。

数字でみるデスク・コタツ寄贈活動

| 回 | 実施地区 | 府県数 | 施設数 | 参加社員数 | 寄贈台数（デスク） | 寄贈台数（コタツ） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 東北 | 3 | 13 | 2 | 40 | — |
| 2 | 大阪 | 1 | 16 | 7 | 50 | — |
| 3 | 九州 | 8 | 24 | 24 | 50 | — |
| 4 | 中部 | 5 | 19 | 25 | 50 | — |
| 5 | 栃木 | 1 | 8 | 18 | 50 | 30 |
| 6 | 中国 | 5 | 30 | 32 | 50 | 50 |
| 7 | 四国 | 3 | 17 | 17 | 50 | 50 |
| 8 | 埼玉 | 1 | 22 | 21 | 50 | 50 |
| 9 | 滋賀・奈良・和歌山 | 3 | 17 | 0 | 50 | 50 |
| | **合　計** | **30** | **166** | **146** | **440** | **230** |

# 2 ともに働く「ヒト」のため　に

## 生産性向上を目指した社員発の働き方改革

　コイズミ照明には、働き方改革の一環として、有志メンバーと人事室を中心に結成された「みんなでカエルぷろじぇくと（通称：みんぷろ）」というチームがあります。みんぷろでは、「働き方改革による生産性向上」を目的に、これまでさまざまな活動を展開してきました。2019年度からはチームコーチングという手法を導入して「業績に貢献する、強いチーム作り」を目指し、「会議変革」に取り組んでいます。みんぷろメンバーが加わり展開される会議は、「役職や年代関係なく、参加者全員が超積極的に発言する」「必ず結論が出て、次のアクションが決まる」など、狙い通りの成果も出始めており、業績貢献に向けた生産性向上の階段を着実に歩んでいます。

　このように小泉産業グループには、社員が会社の将来を真剣に考え、経営層もその気持ちに応えることで成長する風土が、さまざまなところで息づいています。

TOPICS 3

### みんなでカエルぷろじぇくと



最初に会議のルールを確認。ルールのもとでは、上司も部下も関係なく、平等に会議は進行します



多数決の場面。1名しか挙手していませんが、少数意見にも必ず耳を傾け、みんなで意見交換をします

　チームコーチングに興味を持ち、みんぷろに参加。そこには多くの学びがありました。例えば、これまでの会議では報告ばかりで、自分の意見を話すことはありませんでしたが、チームコーチングを学ぶだけで、意識が大きく変わり、自分でも驚くほど積極的に発言できるようになりました。この経験を、他の方にも味わってもらえるよう、チームの輪を拡げていきたいです。



コイズミ照明株式会社
首都圏市場開発統括部
店舗営業部
第2開発室
三井 絵梨香

TOPICS 4

### コイズミアカデミー



経験豊富な講師陣が、社員たちのキャリアアップを全力でサポートしています



## 本質を考えるための人間力を磨き実務に必要な知識・スキルが身に付く会社に

　小泉産業グループでは、企業人として身に付けるべき商道徳として受け継がれてきた、社是「人格の育成向上」の実践に向け、コイズミアカデミーという社員研修に力を入れています。その特徴は「自らのあり方」を考え、学び、探求する人間学としての「道学」と、実務で活用できる知識・スキルとしての「実学」を組み合わせていること。また時代ごとに求められるテーマも学び、社員がやりたいことを明確にして、「働きがい」の核である自発的な意欲を醸成する場となっています。

　新入社員研修をはじめ段階的な入社年次ごとの研修、管理職研修など、充実のラインアップと内容で、グループで働く仲間たちのキャリアアップを支援しています。

TOPICS 5

### テレワーク

## 社員の安全に配慮して快適で効率的な働き方を目指す

　新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、普及が進むテレワーク。小泉産業グループでは、「社員の安全を守る」「社会に迷惑をかけない」という考えのもと、グループ各社ごとの業種や、社員ごとの職種などに合わせて柔軟に活用できる、テレワークの仕組みを、早い時期から段階的に導入しています。

　利用開始から時間が経つにつれて、社員もコミュニケーションが希薄にならないよう、業務が滞りなく遂行できるように注意しながら、上手く出社とテレワークを使い分けられるようになっています。今後も「人」「社会」「経済」が、上手く循環できるように注視しながら、テレワークも含めた「働き方」についてグループ全体で考えていきます。





在宅勤務の社員とのWEB会議。会議室ではマスクを着用し、向かい合わないように着席しています

# 3 社会でつながる「ヒト」のために





講師やインストラクターの指導のもと、参加者は毎回、熱心に受講されています

TOPICS 6

### AED講習会

## 安心に暮らせる社会のために休日の会社スペースを有効活用

　「使用していない休日の社屋を、社会のために役立てよう」との発想で、2009年度からNPO法人大阪ライフサポート協会主催の一般市民向けAED講習会に、小泉産業本社（大阪市）の大会議室を会場として提供しています。受講者の中には、実際に救急の現場に遭遇し、ここで学んだスキルを使って人命を救った方もいらっしゃいます。

TOPICS 7

### 地域清掃活動

## 良き企業市民としてお世話になっている地域社会に貢献



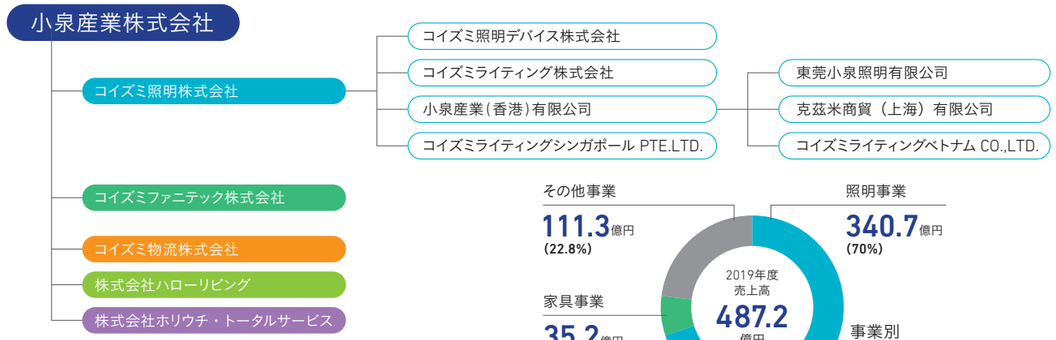
　小泉産業グループでは全国の事業所で、普段お世話になっている、地域社会への感謝の意味を込めて、清掃活動を行っています。2010年から全国展開した活動は、毎年、高い実施率を保っています。また、デスクワークが中心の社員が「良い運動になった」、普段話す機会が少ない社員同士が「コミュニケーションの機会になった」など、社内にも良い影響を及ぼしています。

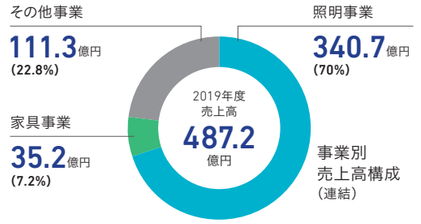


本社（大阪市）では大阪マラソンの前に、役員も参加して、大人数で実施しています

# 小泉産業グループ 概要

## グループの体制

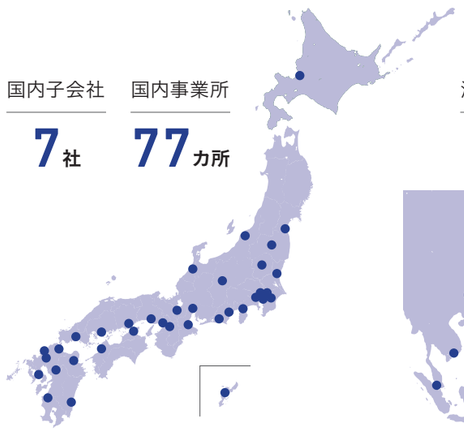



## 国内ネットワークと海外ネットワーク

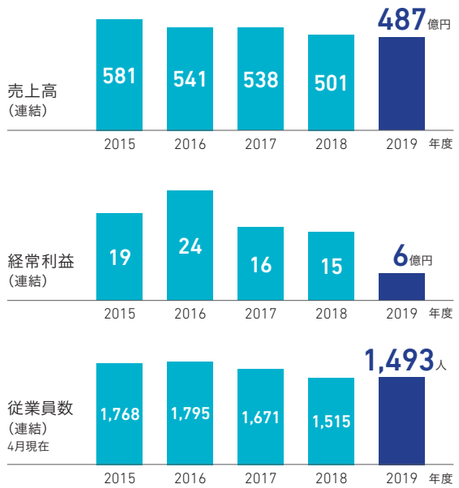
国内子会社 **7社**

国内事業所 **77カ所**



海外子会社 **5社**






## グループの理念

| | |
|---|---|
| 社是 | 人格の育成向上 |
| グループ経営理念 | 新しい着眼と独自の発想で新たな価値を創造し人と社会に夢と感動をつくり出します |
| グループ行動理念 | ● 積極果敢にチャレンジし、目標を必達します<br>● 自由活発なコミュニケーションを行い、明るく、元気に、同志とともに進みます<br>● 互いに学び、人間力を高めます<br>● 現場、現物、現象を基本に、お客様の課題を解決します<br>● 三方よしの精神で、信用と信頼の向上を図ります<br>● 社会規範を遵守し、地域、社会、地球環境に貢献します |
| グループビジョン | 私たちは、ゆたかで快適な暮らしを提供する愛される“価値創造の専門集団”をめざします |



## グループ各社情報

### 小泉産業株式会社

本社所在地　〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7
代表者　代表取締役会長　梅田 照幸
　　代表取締役社長　権藤 浩二
創業　1716年（享保元年）
設立　1943年6月25日
資本金　1,575百万円
従業員　68名
事業内容　持株会社
子会社　12社

| 会社名 | 本社所在地 | 代表者 | 従業員 | 事業内容 |
|---|---|---|---|---|
| コイズミ照明株式会社 | 〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-3-7 | 代表取締役社長 梅田 照幸 | 629名 | 照明器具の企画・開発・製造・販売 |
| コイズミ照明デバイス株式会社 | 〒559-0031 大阪府大阪市住之江区南港東8-4-47プロロジスパーク大阪5 3階 | 代表取締役社長 梅田 照幸 | 16名 | LED用部材・電源等の支給販売と資材倉庫運営、製品・部品の貿易業務、照明器具の簡易加工業務 |
| コイズミライティング株式会社 | 〒529-1512 滋賀県東近江市大塚町1289-2 | 代表取締役社長 吉田 卓 | 221名 | 照明器具の開発・製造 |
| 小泉産業（香港）有限公司 | Units A-B, 26th Floor, 8 Hart Avenue, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong | 董事長 杉本 健 | 17名 | 照明器具の企画・販売 他 |
| 東莞小泉照明有限公司 | 48 wenquan south road, xihu district, shilong town, Dongguan city, Guangdong province, China | 董事長 杉本 健 | 192名 | 照明器具の開発設計・製造 |
| 克茲米商貿（上海）有限公司 | 2F 212, Apt.B, No.228 Wending Rd., Xuhui Dist., Shanghai 200030 P.R.C | 董事長 杉本 健 | 52名 | 照明器具の企画・販売、照明デザイン、アフターメンテナンス |
| コイズミライティング ベトナム CO.,LTD. | Room 202, Cityview Commercial offices, 12 Mac Dinh Chi street, Da Kao ward, District 1, Hochiminh city, Vietnam | 代表取締役社長 河合 健 | 2名 | 照明器具の企画・販売 他 |
| コイズミライティング シンガポール PTE.LTD. | 41 Ubi Crescent Singapore 408588 | Director(CEO) Dave Wee | 35名 | 照明器具の製造、販売と照明デザイン |
| コイズミファニテック株式会社 | 〒557-0063 大阪府大阪市西成区南津守2-1-30 | 代表取締役社長 矢本 博康 | 37名 | 学習環境家具の企画・開発・製造・販売 |
| コイズミ物流株式会社 | 〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-3-7 | 代表取締役社長 八田 康 | 59名 | グループ各社と外販得意先の輸配送・保管・荷役 |
| 株式会社ハローリビング | 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-13-27 アイカビル8階 | 代表取締役社長 石尾 泰裕 | 50名 | 住宅・店舗・施設の設備機器販売と施工 |
| 株式会社ホリウチ・トータルサービス | 〒143-0022 東京都大田区東馬込2-19-11 | 代表取締役社長 熊野 裕章 | 150名 | ホテル、オフィス、商業施設等への家具・什器・設備等の搬入設置 |